

氏名	佐藤玲子	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	公衆衛生看護学 地域看護学				
学位	看護学 修士				
学歴	青山学院大学卒業、聖路加看護大学修了、筑波大学人間総合科学研究科生命システム医学単位取得後満期退学				
経歴	看護師、保健師、養護教諭、大学教員（聖路加看護大学、東京慈恵会医科大学など、埼玉県立大学在職中）				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会、日本看護研究学会、日本フットケア足病医学会、日本歯科衛生学会、日本学校健康相談学会、SPU学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	「6.ヒューマンケアの初期体験 4.学生における効果」新しいIPWを学ぶ 利用者と地域と共に展開する保健医療福祉連携	単著	あり	978-4-8058-8464-5、p162-164、令和4年(2022.04)	佐藤玲子、編集：埼玉県立大学	2022年4月
2	「てんかん」は100人に1人がかかる身近な病気	単著	あり	健学社、心と体の健康、26(09)、35-38、令和4年	佐藤玲子	2022年9月
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	都市部の地域在住高齢者の唾液分泌量と身体フレイルの関連—A市健康教育の参加者の分析—	共著	なし		地域ケアリング、24(10)、85-87	佐藤玲子、會田和音、植村友美、吉田隆
2	乳幼児向け歯磨き絵本に使用される色彩の特徴	共著	なし		子ども・教職研究6、13-21	大谷こころ、佐藤玲子
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	起立時の身体の安定性と両下肢筋力の検討	共同		第3回日本フットケア・足病医学会年次学術集会、奈良、抄録集p207	○佐藤玲子、関美雪、上原美子	2023年2月11日～12日
2	60分間に2回の唾液腺マッサージを行うことで唾液分泌量は増加した—健康な女子大学瀬の1事例から—	共同		令和4年度埼玉県歯科医学大会 抄録集p19	香取由美、○佐藤玲子、吉田隆	2023年3月5日
3	乳幼児を持つ母親の育児情報に関するインターネット利用の実態	共同		公衆衛生学会総会抄録集81p337	関美雪、服部真理子、石崎順子、伊草綾香、柴田亜希、○佐藤玲子、上原美子	2022年10月7日～9日
4	母子健康手帳の育児情報源としての活用状況	共同		小児保健研究81巻講演集p171	関美雪、服部真理子、石崎順子、伊草綾香、柴田亜希、○佐藤玲子、上原美子、寺内佑美	2022年6月24日～26日
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部省科学研究費			地域在住高齢者の足のセルフケアの促進と足指筋力の向上に関する効果の検証	研究代表者	2019年4月～2024年3月
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	口腔保健科学臨地臨床実習Ⅲ		1	3年生、実習オリエンテーションで、周手術期における手術室入室時の環境整備や装具・術衣の着用について理解を促した。		

2	看護学概論	○	15	対象年次生に、成人・高齢期の健康・家族の発達と衰退・加齢症状・生活習慣による疾患・介護など、ライフステージに応じた理解を促した。
3	小児保健看護学	○	15	対象年次生に、出生前・胎児期・乳幼児期・母性の発達、保健活動など、ライフステージに応じた健康の変化の理解を促した。
4	小児看護学（総論）	○	8	対象年次生乳幼児の疾患を理解し成長発達を促すこと、学校保健で必要になる健康管理の重点項目を加えて講義を行った。
5	母性看護学（総論）	○	8	対象年次生子どものケアや療養期の看護を行う家族や保護者、母親の視点を理解できるよう講義を行った。
6	看護援助方法	○	8	対象年次生基本的な看護技術バイタルサイン（呼吸・脈拍・血圧・体温）を理解し健康管理に必要な知識・技術を理解し実技の習得を行った。
7	チーム歯科医療学Ⅲ	○	8	対象年次生臨床場面の健康観察で用いる生体機能検査について講義を行い理解を促した。
8	教職実践演習		15	対象年次生教職養護教諭履修学生が総合的に知識・技術を習得し、卒業・就職に向けた学習のサポートを総合的に行った。
9	養護実習事前事後オリエンテーション		15	対象年次生養護実習の事前準備を実施し円滑な実習を行った。また実習後の学習成果を共有化し質疑応答を通して学習を全員で深めた。
10	卒業研究	○	2	3・4年生へ、ゼミナール開催、論文発表会、論文の提出、論文集の作成、成績集計を行った。
11	ヒューマンケア論		30	1年次生のIPE科目を担当して令和5年度のヒューマンケア論の準備を行うった。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	口腔保健科学専攻臨地臨床実習 OSCE		12	実習前の態度・知識・技術など学習支援を行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	養護実習 1		30 9月26日～30日	養護実習の基礎実習であり、実習2や大学講義の学習を進化できるよう指導を行った。
2	IPW実習		45 8月8日、25日、8月29日～9月1日	4大学合同で実施、専門性のある学生の視野を広げ相互理解し、ケアに反映するよう指導を行った。
3	養護実習 2		150 5月9日～6月3日	養護教諭の実習、実習中は感染予防・学校の運営・授業実施など、養護教諭の事務実践の学習を指導した。
4	看護臨床実習	○	60 9月2日～16日	実習課題・対象者・臨地実習施設に応じた内容で展開し、医療的ケアとコミュニケーション・健康管理の指導を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	口腔保健科学専攻 卒業研究	令和2年3月～令和5年2月	主指導 2名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	調布市健康づくり始める会	運営委員	なし	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	保健委員会		2022.4～2023.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	地域産学連携委員会 専門職連携部会 IPW総合課程8-12月、2月		2022.4～2023.3

3	学科等における委員会等	教職関連科目担当者会議	2022.4~2023.3
4	学科等における委員会等	ヒューマンケア実習室運営担当者会議	2022.4~2023.3
5	学科等における委員会等	子ども・教職研究編集委員	2022.4~2023.3
6	学生支援	アドバイザーグループ活動	2022.4~2023.3
7	学生支援	進路相談	2022.4~2023.3
8	大学広報活動	オープンキャンパス実施4回、教職ホームカミングデイ1回	2022.4~2023.3
9	学生支援	自衛消防隊地区隊	2022.4~2023.3
10	地域貢献活動	公開講座1回	2022.4~2023.3
8. 特記事項			
1	該当なし		